



札幌市



「野菜のなる公園」で子ども達に食育活動

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

株式会社 ふるさとファーム

【札幌市】

「野菜のなる公園」で子ども達に農業の魅力を伝えたい

はじめは？

札幌市南区石山六区地区に平成23年新規就農し、耕作放棄地を整備し、ビニールハウスを建てることから始めました。主に夏場はミニトマト、冬場は寒締めほうれん草など「札幌産」の野菜を栽培し、主に生協の「ご近所やさい」として販売、高品質なミニトマトは「札幌蕃茄（ばんか）」ブランドで、ネット通販により全国販売しています。

農場の一部を「野菜のなる公園」と名付け、児童養護施設などの小学生を対象にしたグループに、通年で様々な農業体験や実践型の食育プログラムを行っています。地域の高齢者たちも、「里山」が甦ったようで子ども達の声に喜び、ボランティアスタッフとして準備や活動の手助けをしてくれます。

おもな活動

農業経営としてのハウスや露地での野菜栽培の傍ら、小学生を対象とした農業体験プログラム「ばるきっず」を毎月1回のペースで行っています。

農業の魅力を伝えるのも農業者の役割という考えで、都会の子ども達に楽しい野菜作りの場を提供しています。



カレーライス畑での作業の様子

「カレーライス畑」では、子ども達が植えて育てた野菜と田んぼのお米で、秋にカレーライスを作ります。作ってから食べるまで、春から秋までの農作業体験を一通り行います。毎年人気で、募集するとすぐに定員になってしまいます。

ここが自慢

【野菜のなる公園】

「野菜のなる公園」は、公園にブランコがあるように、ブランコ代わりに野菜が植えてあり、いつでも野菜や自然に触れ合い成長や変化を感じることができる場所であり、気軽に立ち寄って遊べる畑です。

近くには、ホテルが飛び交う小川や、栗拾いができる栗の山もあり、札幌とは思えない里山風景がここにはあります。



秋の収穫祭の様子（左）とミニトマト「札幌蕃茄」（右）

連絡先

代表者名：東海林幸恵さん／設立：2011年／会員：83名

住所：札幌市南区石山637-6

電話番号：011-215-1985

F A X：011-215-1986

E-mail：info@furusato-farm.jp

U R L：http://www.furusato-farm.jp/